

社会科（公民的分野）

社会科（公民的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

社会科（公民的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい社会 公民」

学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が提案されるなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。また、生徒が資料の読み取り、情報収集・まとめなどの技能を身に付けるためのコーナーとして、「集める」「読み取る」「まとめる」が随所に設定されているとともに、具体的な資料を用いて社会的な課題を考える「スキル・アップ」コーナーなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

各章や各単元で、「見方・考え方」マークを付して、見方・考え方を働かせながら、考察を深める「見方・考え方」コーナーが随所に設定されている。また、「導入の活動」「まとめの活動」では、Yチャートなど思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら、探究課題の解決を図る活動が設定されるなど工夫されている。

各単元の導入で、解決すべき課題を把握するための視点を自ら見つけ出すことで、課題を追究し解決する活動へつながるよう工夫されているとともに、各単元の「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動を通して、考察を深め、価値判断や意思決定する場面が設定されている。また、単元末のまとめでは、節ごとの探究の問いに対して、考察してきたことを思考ツールを活用して整理する活動が提案されている。さらに、「まとめの活動」では、社会の課題解決に向けて、生徒が考察、構想する場面が設けられているなど、すべての単元で課題解決に向けた学習の充実が図られており、優れている。

「地方自治」の学習では、地方財政の仕組みを踏まえながら、自らが地域社会に対してできることを考える学習を通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

巻頭や第1章のはじめに、持続可能な社会の実現に向けて、環境・エネルギーや防災・安全などの5つのテーマに分けて解決すべき課題を取り上げ、巻末では、自分の就きたい職業とその職業を通して、持続可能な社会の実現のためにできることは何かを考える活動が設定されるなど、持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」

学習課題が、単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの学習課題の3段階で示されており、節の問いに対するまとめは設定されていないが、毎時間の学習課題に対するまとめが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、随所に設けられている「読み解こう」コーナーでは、生徒が資料を読み取り・分析する際の視点を問いの形で示し、コラム「公民の技」では、現代社会の課題を取り上げるなど、個人やグループ活動を通して、生徒が公民学習に必要な技能や表現力を身に付けられるよう工夫されている。

各章の導入で、学習を進めていく視点が「見方・考え方」として示されるとともに、適宜「見×考」マークで見方・考え方を働かせて現代社会の考察を深める問いが設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、章全体のテーマについて、具体的に示された見方・考え方を働かせながら、生徒が自分の考えをまとめ、解決を図る活動が設定されているなど、工夫されている。

各単元の導入で、単元を貫く学習課題の視点が示されており、単元全体の見通しを持って、学習に

取り組みやすい。また、各単元の「公民の技」「読んで深く考えよう」では、社会の課題解決に向けて考察、構想する活動が設定されており、各単元末の「学習のまとめと表現」には、これまでの学習内容を活用して、さらに考察、構想し、次の単元の学習につなげる構成となっており、生徒がより深く課題を追究できるよう工夫されている。

政治的分野の学習のまとめでは、衆議院議員選挙の投票率の推移をもとに、年齢構成別に異なる立場から課題を考えるなど、多面的・多角的な視点から、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

豊富なコラムや特設ページに加え、国際社会の単元では、子どもと女性の問題に関する題材が取り上げられるなど、生徒が人権に対する理解を深められるようよく工夫されている。

持続可能な社会を創造する市民の育成が編集の柱とされており、巻頭ではSDGsの17の目標と持続可能な未来予想図が紹介され、本文の各所でも学習内容と関連するSDGsの項目が示されているなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

■帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」

学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いの3段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。また、資料を読み取る視点等を具体的に示した「資料活用」が、毎時間設定されているとともに、随所に設定されている「技能をみがく」コーナーでは、情報収集・分析や意見整理等の方法が紹介されるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されており、優れている。

各単元末の「アクティブ公民」では、見方・考え方を働かせながら、様々な図表や資料から正確に情報を読み取り、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する活動が設定されている。また、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章を貫く問いについて、具体的に示された見方・考え方及び習得した技能を生かしながら、生徒が章の問いを解決できるよう段階的な活動が設定されているなど、工夫されている。

各単元の導入「学習の前に」では、大きなイラストを読み解く活動を取り入れ、社会の課題や特色と関連させながら、課題把握・課題追究できるよう工夫されている。また、各単元の「公民プラス」「よりよい社会をめざして」等では、社会の課題を考察する場面が設けられているとともに、各単元のまとめでは、他者の意見をもとに自分の考えを深めながら課題を解決する活動が設定されているなど、単元を通して考察・構想する学習活動が充実している。

「地方自治」の学習では、地方財政の予算案を考える学習課題が用意されており、公正と効率の考え方をもとに、地域社会の望ましい姿を考えたり、様々な企業活動と現代社会の課題との関係性と捉えたりしながら、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるように工夫されている。

持続可能な開発目標の意義の理解を涵養するため、国際社会の単元では、SDGsの理念が詳しく解説されているとともに、各所にSDGsとの関連を示すマークが付されている。また、特設ページ「よりよい社会を目指して」「未来に向けて」「アクティブ公民」では、社会が直面する課題を取り上げて、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるようよく工夫されている。

■日本文教出版「中学社会 公民的分野」

各編の導入で、これから学習する内容の概要とともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がか

りとなる「見方・考え方」が毎時間併せて示されているとともに、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されるなど、よく工夫されている。また、生徒の資料の読み取りを補助する「資料活用」コーナーや、情報を収集し、読み取り、まとめる技能や情報リテラシーを育むための特設ページ「情報スキルアップ」等が適宜設けられるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

各編の導入で、身近な場面設定の漫画を用いて、生徒にわかりやすく見方・考え方が解説されており、単元で働かせる見方・考え方を具体的に捉えやすいとともに、毎時間の学習課題に応じた「見方・考え方」が着目する視点をとって具体的に示されるなど、生徒が学習の見通しをもちながら、課題追究を行いやすい。また、「深めよう」「ニュースを見方・考え方から見てみよう」等では、見方・考え方を働かせる問いが設定されるなど、よく工夫されている。

各単元の「深めよう」「アクティビティ」では、学習課題に対して考察を深める活動が設定されているとともに、「明日に向かって」「チャレンジ公民」では、グループでの話し合い活動等を通して、生徒が多面的・多角的に考え、社会の課題を自分ごととして向き合って考察、構想できるよう工夫されている。また、各単元末のまとめでは、社会的事象について自らの意見や考えを表現する場面が設定されているなど、よく工夫されている。

「地方自治」の学習では、地方財政の課題から、政策の実現可能性を考察する活動や見方・考え方を働かせながら、経済と政治の学習を結びつけて考えることなどを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

巻頭の見開きで、国際社会共通の目標として、SDGsの17の目標が紹介されており、持続可能な社会を実現するために私たちがどのような視点をもつことが大切かを考えることから公民学習がスタートしている。また、各所で持続可能な社会について触れるなど、全体を通して、生徒が持続可能な社会の形成に参観する態度を身に付けられるようよく工夫されている。

日本の各地域に受け継がれてきた様々な伝統と文化の多様性を取り上げ、グローバル化の中で国際的な視点から我が国の伝統と文化を考察する教材が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。

■自由社「新しい公民教科書」

毎時間のまとめとなる活動は設定されていないが、生徒に対して問題提起をするような表現で単元を貫く問いや毎時間ごとに学習課題が設定されているとともに、「ここがポイント」として学習内容が2～3項目にまとめられている。また、本文側注の用語説明や巻末の法令集が手立てとなっているものの、全体を通して、図表をはじめとする関連資料の掲載が少なく、情報収集・分析、資料を読み取る力などの技能を磨くためのコーナーなどはほぼ設定されていないなど、生徒が公民学習に必要とされる技能を身に付けるための学習の手立てが弱い。

現代社会の特色を捉えるうえでキーワードとなる言葉や視点をキャラクターの吹き出しで補足するなど、生徒の関心をひきつけて、より深く考察できるように工夫されている。ただし、毎時間ごとの学習で、現代社会の見方・考え方を働かせる学習課題が設定されているものの、考察を深めるための視点や手立てはほぼみられないなど、工夫がやや弱い。

各章の最初の単元に、単元を通して考えたい学習課題が示されているが、各単元の学習を見通すための場面等は設定されておらず、また、各単元の学習課題では、本文の記述をもとに、これまでの歴

史的な背景から日本の現状を知ること重点が置かれているため、多様な視点をもとに、生徒自らが現代社会の特色を捉え解決すべき課題を把握し、その解決に向けて考察、構想する場面の設定が少ない。

特設ページ「魅力あるまちづくりを考えよう」が設けられているなど、日本で暮らす私たちが地域社会や国際社会で果たすべき責任を考えることを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

国際社会の単元で、SDGsの理念等が紹介されている。また、終章のまとめ活動は、「持続可能な社会を目指して」がテーマとされ、日本型ODA等や軍事、環境等の視点から見た日本と世界の姿が掲載されるとともに、卒業論文やディベートが課題の探求として設定されるなど、生徒の持続可能な社会の形成に参画する意識の涵養につながるよう工夫されている。

特設ページやコラムを組み合わせ、日本人の自画像、文化の継承と発展について考えを深められるよう構成されており、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度や社会参画への意識を身に付けることができるよう工夫されている。

■育鵬社「最新 新しいみんなの公民」

各単元の学習内容に関わる具体的な課題に加え、毎時間の学習課題が示されており、その課題に対応した「学習のまとめ」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、毎時間の導入部分でしか資料を読み取る視点が示されていないものの、各章「入り口」のページで、生徒が学習内容を掴むための資料が比較的多く示されているとともに、随所に「学習を深めよう」として、資料をもとに考えたり調べたりする課題に取り組むコーナーが設けられるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

全体を通して、現代社会の仕組みをより深く理解することに重点が置かれ、現代社会の課題について、本文中での詳しい説明に加えて、論点を整理して示すことで、生徒が見方や考え方を働かせながら取り組めるよう工夫されている。また、各単元の導入の「入り口」では、現代社会の見方・考え方が解説されており、各単元のまとめの場面とつなげて、現代社会の仕組みや考え方を生徒自身が分析・評価し、その解決策を考察、構想する場面が設定されるなど、工夫されている。

各単元の導入で、なぜこのテーマを学ぶのかが解説され、生徒が見通しを持って学習課題の解決に向けて取り組みやすい。また、各単元の「やってみよう」「学習を深めよう」では、学習課題についてより詳しく説明する活動など、考察を深められる活動が設定されている。さらに、各単元末の「これから」では、KJ法などの公民学習の基礎的スキルを身に付けるための「スキルアップ」を活用しながら、社会の課題に対して、考察、構想する場面が設けられているとともに、本文や特設ページで取り上げられた資料等を、さらに考えたり、調べたりする課題が示される「TRY」が豊富に用意されるなど、生徒がより深く課題を追究し、探究的な学習活動に取り組めるようよく工夫されている。

政治参加・地方自治の項目では、様々な対立を調整しつつ、重視する価値の選択や判断を行う学習活動等が設定されるなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

巻頭の見開きで、SDGsの17の目標が写真を用いて具体的に示されており、わかりやすい。また、過去の開発目標(MDGs)の成果と課題の評価・分析から、解決すべき国際社会の課題を見出す活動や、各単元でもSDGsに関する教材等が適宜紹介されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるようよく工夫されている。

現代社会の文化として、私たちの生活と文化のかかわり、日本の伝統と文化、文化の継承と創造に

ついて紹介されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○	○	○
		2 指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	◎	○	◎	◎	△	○
		3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○	○	○
		4 情報を効果的に調べまとめる技能を養う工夫	○	○	◎	○	△	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	○	○	○	○
		2 説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	○	○	○	◎	○	○
		3 課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	○	○	○	○	△	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすい工夫・配慮がなされていること	1 主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	○	○	△	○
		2 探究意欲を高める工夫	○	○	○	◎	○	◎
		3 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	○	○	○
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること	1 現代社会の見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	○	○	○	◎	△	○
		2 課題把握・課題解決に向けて考察・構想したりする学習の充実	◎	○	◎	◎	△	◎
		3 現代社会を捉える視点を養う学習の充実	○	○	○	○	○	○
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること	1 持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	○	○	◎	◎	○	◎
		2 公民、主権者としての資質・能力の育成に関する記述	○	○	○	○	○	○
		3 国際社会における文化や宗教等の多様性に関する記述	○	○	○	◎	○	◎
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1 人権教育の推進	○	◎	○	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○	○	○
		2 他教科や教育課題等との関連	◎	◎	◎	◎	○	◎
		3 他校種との接続	○	○	○	○	△	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすい工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	△	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	△	○

【社会科（公民的分野）】観点別資料

【選定の観点１－１】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○毎時間ごとに設定されている「チェック」「トライ」の２段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「チェック」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」では、要約や説明をする活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各単元末に「基礎・基本のまとめ」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、その語句を用いて図に整理したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の３段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。	○毎時間ごとに設定されている「確認」「表現」の２段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」では、説明や話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習のまとめと表現」が設定されており、学習した語句の意味を確認したり、語句を活用して説明したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○学習課題が、単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの学習課題の３段階で示されており、節の問いに対するまとめは設定されていないが、毎時間の学習課題に対するまとめが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。	○毎時間ごとに設定されている「確認しよう」「説明しよう」の２段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認しよう」では、本文から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」では、習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「章の学習を振り返ろう」が設定されており、章の導入部で示されたイラストをもとに、章全体の学習内容を振り返ることができるとともに、学習した語句の意味を確認したり、活用したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いの３段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。	○毎時間ごとに設定されている「確認」では、学習課題とともに示された見方・考え方をともに、学習のまとめができるよう工夫されている。また、適宜設定されている「深めよう」では、見方・考え方を働かせる問いが用意されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習の整理と活用」が設定されており、学習した内容と語句を説明したり、語句を活用して図を作成したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○各編の導入で、これから学習する内容の概要が示されているとともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が毎時間併せて示されている。また、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。	○毎時間のまとめとなる活動等は設定されていないが、「ここがポイント」として、習得すべき知識・技能が２～３項目にまとめられており、生徒にとってわかりやすく、学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習のまとめと発展」が設定されており、学習した語句について文字数を設けて説明する活動を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○生徒に対して問題提起をするような表現で単元を貫く問いが示されているとともに、毎時間ごとに学習課題が設定されているが、１時間ごとのまとめ活動が設定されておらず、生徒自らが学習内容の定着を図るための工夫としてやや弱い。	○毎時間ごとに設定されている「学習のまとめ」で、毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、適宜設定されている「説明しよう」の発問では、発表や説明、まとめなどの活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習のまとめ」が設定されており、学習した語句の確認やその語句を用いて図を作成する課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○各単元に、学習内容に関わる具体的な課題が示されているとともに、毎時間の学習課題が示されている。また、その課題に対応した「学習のまとめ」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。

【選定の観点 1－2】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末の「用語解説」ページの用語の種類も他社と比べ最も豊富である。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒にとって使いやすい。また、巻末の法令集では、本文と法令集との関連ページが表示されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○資料の読み取り、情報収集・まとめなどの技能を生徒が身に付けるためのコーナーとして、「集める」「読み取る」「まとめる」が随所に設定されている。また、「スキル・アップ」コーナーでは、具体的な資料を用いて、円高円安の影響を考える活動や情報を批判的に読み取る力（メディアリテラシー）を身に付けるための活動が設定されるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末には「用語解説」ページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を助ける手立てとなっている。また、巻末の法令集では、関連ページが表示されていないが、本文には巻末の法令集の該当ページが表示されている。日本国憲法の難解な語彙には、欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○随所に設けられている「読み解こう」コーナーでは、生徒が資料を読み取り・分析する際の視点が問いの形で示されている。また、コラム「公民の技」では、現代社会の課題や資料活用の方法・手順等が示されているなど、個人やグループ活動を通して、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○巻末に「用語解説」等のページは設けられてはいるものの、本文中の難しい用語には、注釈や「解説」として補足説明が付けられており、生徒の用語理解を助けている。また、巻末の法令集では、本文と法令集との関連ページが表示されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○毎時間設定されている「資料活用」では、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料を活用して考えを深める活動が提案されるなど、生徒が必要な情報を読み取る力を身に付けられるよう工夫されている。また、随所に設定されている「技能をみがく」コーナーでは、情報収集・分析や意見整理等の方法が紹介されるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されており、優れている。	○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末には「用語解説」ページに加え、「類似用語集」のページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒にとって使いやすい。また、巻末の法令集では、本文と法令集との関連ページが表示されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○生徒の資料の読み取りを補助する「資料活用」コーナーや、情報を収集し、読み取り、まとめる技能や情報リテラシーを育むための特設ページ「情報スキルアップ」「ニュースを見方・考え方から見てみよう」が、適宜設けられるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○巻末に「用語解説」等のページは設けられてはいるものの、本文中の難しい用語には、側注に説明が掲載されるなど、生徒の用語理解を助けている。また、関連ページは示されていないものの、巻末に法令集が用意されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○全体を通して、図表をはじめとする関連資料の掲載が少ない。また、情報収集・分析、資料を読み取る力などを身に付けるための工夫やコーナーなどもほぼ設定されていないなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けるための学習の手立てが弱い。	○本文の難しい用語には、注釈で補足説明や用語解説が付けられており、巻末には「用語解説」ページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を助けている。また、巻末の法令集では、関連ページが表示されていないが、本文には巻末の法令集の該当ページが表示されている。日本国憲法の難解な語彙には、欄外に解説を加えるなど、工夫されている。 ○毎時間の導入部分でしか資料を読み取る視点が示されていないものの、各章「入り口」のページで、生徒が学習内容を掴むための資料が比較的多く示されている。また、随所に「学習を深めよう」として、資料をもとに考えたり調べたりする課題に取り組むコーナーが設けられるなど、生徒が公民学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

【選定の観点 2－1】

習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○毎時間の学習のまとめとなる「トライ」で，1時間の学習内容をもとにした，要約や説明する活動，自分たちに何ができるかを考える言語活動が設定されている。また，各単元のまとめや振り返りには，単元の学習を通して得た知識を整理して，自分の意見や考えを表現する学習活動が用意されるなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○尊厳死や死刑制度，国連分担金など，豊富な題材が取り上げられる「みんなでチャレンジ」「スキル・アップ」等のコーナーで，話し合いなどの言語活動の機会が数多く設定されている。また，各所に，生徒が資料を分析する視点や話し合いを行う際の視点が具体的に示されるなど，多面的・多角的に考察しながら，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で，社会的事象や課題等について，説明し，話し合いを行う言語活動が設定されている。また，各章末の「学習のまとめと表現」では，章の学習で習得した知識を整理しながら，自分の考えをまとめたり，意見を交換したりする課題が設定されるなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○死刑制度や社会保障費の給付と負担など，豊富な題材が取り上げられるコラム「公民の技」「読み解こう」等で，生徒が話し合う場面が各所に設定されている。特に，「読み解こう」では，グラフ，写真，地図などの資料を読み取り，社会の動きを考察する活動が重視されるなど，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で，1時間の学習内容をもとに，説明してまとめる活動が設定されている。また，各章末の「章の学習を振り返ろう」では，章を通じた学習内容を整理し，意見交換等を通して，自分の考えを深めていく活動が段階的に示されるなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○特設ページ「アクティブ公民」では，本文の学習内容を踏まえて，生徒が社会の課題について考えを深め，意見交換する活動等が設定されている。また，コラム「Yes・No」では，社会で議論されている課題の賛否の意見を取り上げ，生徒が議論・選択・判断する活動が提案されるなど，多面的・多角的に考察しながら，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「確認」では，1時間の学習内容をまとめる活動，「深めよう」では，見方・考え方を働かせて学習内容をさらに深めるための活動が設定されている。また，各章末の「学習の整理と活用」では，新聞記事をもとに，自分の考えを深める活動が設定されるなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○随所に設定されている「アクティビティ」では，携帯電話のルールづくりや税の公正さなど，生徒にも議論を深めやすい多様な題材をもとにした話し合い活動等が提案されている。また，各単元末の「チャレンジ公民」では，豊富な資料，データ，論点等が用意され，社会の課題について生徒が考え表現する活動，グループで考察・構想する活動等が，生徒に取り組みやすいよう段階的に提案されているなど，多面的・多角的に考察しながら，言語活動の充実が図れるようよく工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる学習課題は設定されていないものの，適宜「やってみよう」として，学習課題に関連して考える活動が示されている。また，各章末の「学習のまとめと発展」では，学習した内容をもとに，学習を発展させる発問が用意されるなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○適宜設定されている「やってみよう」で，話し合い活動が提案されている。また，各章で適宜設定されている特設ページ「アクティブに深めよう」では，新聞の読み比べや模擬店の出店など，生徒が話し合い活動や表現活動が展開できるよう工夫されており，多面的・多角的に考察しながら，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「学習のまとめ」で，1時間の学習内容をもとに，話し合いや発表，まとめる活動が設定されている。また，各単元末の「これから」や「学習のまとめ」では，単元の学習内容をもとに，考えを説明したり，話し合ったりする言語活動が設定されており，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○各所に設定されている「学習を深めよう」「やってみよう」では，本文の学習をさらに深めるため，説明や話し合い活動，グループでの作業等が用意されており，生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。特に，「やってみよう」では，夫婦同性や特定秘密保護法に関する賛否の意見が詳しく示されるなど，生徒にも議論を深めやすく，言語活動の充実が図りやすいよう工夫されている。

【選定の観点 2－2】

習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○全ての単元が、「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」の3段階で構成されており、生徒が課題解決的な学習を進めやすい。また、各単元の最後では、単元を貫く問い「探究課題」をもとに、これまで思考・判断してきた内容を段階的に整理するページが設けられており、さらに「まとめの活動」では、思考ツールを活用して思考・判断した内容を適切に表現しながら課題解決に取り組むよう提案されるなど、生徒が課題解決的な学習を通して、自ら考え表現する力を身に付けられるよう工夫されている。	○全ての章で、「学習の見通し」の中で学習課題が示されており、その課題解決に向けたまとめの場面が章末で用意されている。また、各章の最後には、章全体の学習を通して考えてきたことを思考ツールをもとに整理して、課題を解決する学習活動が提示されている。また、「次章の学習へ」というコーナーが用意されており、これまでの学習が次の章にどのようなつながるのかが示されることで、生徒が目的意識と見通しをもって次の課題解決に臨めるよう工夫されている。	○全ての章で、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いが示されている。それら問いごとに振り返り活動等を設定することで、生徒は章全体の見通しを持ちながら、段階的に問いを追究することができるよう工夫されている。また、各章の最後では、章を貫く問いに対して自分の考えをまとめる活動が3段階で用意されており、さらに「次章への準備」として、次の章に向けた課題解決的な学習の準備となる活動が設けられるなど、生徒が意欲をもって計画的に学習をつなげていけるよう工夫されている。	○全ての単元で、単元の学習内容と学習課題の解決に向けた手がかりとなる見方・考え方が示されていることに加え、それに基づいた毎時間の学習課題が設定されている。特に、毎時間の学習課題に重点が置かれており、適宜設定される「深めよう」で示される見方・考え方を働かせる問いも活用しながら、生徒が多様な側面から課題解決的な学習に取り組み、自ら考える力を身に付けられるよう工夫されている。	○全ての章において、知識・技能の習得に重点がおかれた構成となっているが、生徒が課題を追究したり解決したりする学習の進め方などはほぼ提示されていない。また、各章末の「学習のまとめと発展」では、学習のまとめが設定されているが、生徒にとって、章のはじめに紹介されているこれから学習する内容との関連性がわかりにくい。課題解決的な学習に取り組みにくい。	○全ての章の導入部分に用意されている「入り口」では、章全体の学習内容を捉えられるようになっており、また、「入り口」に基づいた学習課題が毎時間設定されているなど、生徒は目的意識と見通しをもって課題の解決に取り組むやすい。また、各章末の「これから」では、章の学習内容と関連した社会の課題が取り上げられており、その解決に向けて考える活動も設定されているなど、生徒が自ら考え表現する力を身に付けられるよう工夫されている。

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○各単元の「導入の活動」で、イラストや資料をもとに単元の学習課題を掴むための対話的な学習が設けられている。また、節ごとの問いを「探究のステップ」として、さらに単元を貫く「探究課題」として示すことで、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。さらに、単元の導入やまとめ、毎時間ごとなど様々な場面で設けられている「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、話し合い活動等が設定されており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。 ○単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階に設定された学習課題と、それぞれに関連させた「導入の活動」「まとめの活動」が用意されるなど、構造的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。また、各単元末には、学習した内容をもとに、自らがどのように社会や政治、経済に関わるべきかを考える活動が用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。	○各単元の導入「学習のはじめに」で、漫画やイラストを用いて、単元全体の学習内容や学習のねらい、学習の視点を捉えられるよう工夫されており、学習の見通しをもって主体的な学習が進められるよう工夫がされている。また、単元の導入やまとめ、毎時間ごとの「表現」やコラム「公民の技」の中で、意見交換や話し合いなどの場面が設定されており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。 ○社会の課題を詳しく掘り下げて考える特設ページ「読んで深く考えよう」や「言葉で伝え合おう」が適宜用意されており、生徒自身で探究テーマを設定し、レポートを作成する流れが示されるなど、個の関心に応じた探究的な学びが進めやすい。また、探究活動が用意されている終章「持続可能な未来の社会へ」では、SDGsの17の目標と意義に加え、持続可能性を妨げる今日的な課題が例示されており、生徒がその解決に向けて探究意欲を高められるよう工夫されている。	○各単元の「学習の前に」で、大きなイラストを用いて、身近な事例から学習内容を読み解く活動が用意されており、生徒は単元の学習内容を概観することができるとともに、学習の動機付けにもなっている。また、単元を貫く問い、節ごとに問いを設定することで、生徒はその解決を目指すための見通しをもって学習に取り組むことができ、主体的な学習が進めやすい。さらに、単元のまとめや「アクティブ公民」等の特設ページでは、話し合い活動が設定されており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。 ○社会の課題を取り上げるコラム「未来に向けて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」で、本文と関連させたSDGsや地方公共団体の取組が紹介されており、生徒の探究意欲を高めている。また、特設ページ「章の学習を振り返ろう」「アクティブ公民」では、社会に見られる課題の解決に向けて、生徒自身が、構想・選択・判断する学習が提案されているなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。	○各単元の冒頭に、イラストをもとに身近なできごとから単元での学習内容を掴む場面が設定されており、また、単元で何を学習するのかが文章で示されており、生徒が学習の見通しをもちやすく、主体的な学習が進めやすい。さらに、単元の導入やまとめ、「アクティビティ」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が取り上げられており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。 ○各編の導入ページで、抽象的な見方・考え方の概念が、具体的な場面の漫画を用いて解説されており、生徒にとってわかりやすい。また、毎時間の学習課題の解決につながる具体的な問いや活動が「アクティビティ」で示されるとともに、「公民+α」では、学習課題に関連する情報が随所に提示されている。さらに、編末の「チャレンジ公民」では、見方・考え方を働かせながら、社会の課題を考察し、選択・判断（構想）する構成となっており、生徒が課題を追究しながら、探究意欲を高められるようよく工夫されている。	○章の冒頭に、その章で何を学習するのか文章で示されているが、各単元の学習を見通すための場面等は設定されておらず、生徒は見通しを持ちにくく、主体的な学習につながりにくい面がある。また、毎時間ごとの「やってみよう」で、話し合い活動が設定されていたり、「アクティブに深めよう」では、対話的な学びを促す学習活動が取り入れられていたりするが、他社に比べてその場面は少ない。 ○各単元で適宜設定される「もっと知りたい」や各章末の「学習のまとめと発展」等で、生徒の探究的な学びを促す問いが設けられている。また、終章の「課題の探究」（探究でなく探求と表記）では、ディベートや卒業論文の作成が課題として用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。	○各単元の導入の「入り口」で、学習内容に関わる具体的な課題が示されるとともに、資料の分析や調べ学習など、生徒が自分で考える場面が設定されている。また、各単元の学習の目的、視点、手順も示されており、生徒が見通しをもって主体的に学習が進めやすい。さらに、単元の導入やまとめ、毎時間のまとめや「やってみよう」「学習を深めよう」等では、話し合い活動が提案されるなど、対話的な学びが展開しやすいよう工夫されている。 ○各章末に、その章で学習した内容を踏まえ、社会的事象の意義や特色等を、深く考察したり、その解決に向けて選択したり、社会の未来の姿をさらに深く構想したりする教材「これから」が設定されており、生徒の探究的な学びが促されている。また、本文や特設ページ「学習を深めよう」で取り上げられた資料等を、さらに考えたり、調べたりする課題が示される「TRY」が豊富に用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるようよく工夫されている。

【選定の観点3－2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○適宜設定される特設ページ「もっと公民」では、学習内容をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら取り組む学習課題が用意されている。また、「みんなでチャレンジ」等では、対話の場面や様々な思考ツールを用いて思考を整理する活動が意図的に設定されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○各所に、ノートの取り方、ディベート、ジグソー法の実践等が紹介されている。また、随所に設けられているコラム「公民の窓」「クリップ」では、本文の学習内容をさらに掘り下げ、視野を広げる内容を紹介することで、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	○適宜設定されている「技能をみがく」コーナーで、K J法やツリースタイルなど考えや意見を整理するための技法が紹介されている。また、社会の課題解決に向けて、多様な立場から考える活動を設けた特設ページ「アクティブ公民」やコラム「未来に向けて」「公民プラス」では、現代社会や政治・経済等の学習内容に関する実社会の動きを豊富に取り上げることで、生徒が発展的な学習に取り組むやすいよう工夫されている。	○各章末に、フリーカード法など課題について考える際の手助けとなる思考ツールを使った活動が紹介されている。また、学習内容をさらに掘り下げ、深めるためのコラム「公民+α」や身近な地域活動の例から私たちにできる社会参画を考える「明日に向かって」など、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組むやすいよう工夫されている。	○各所に設けられる特設ページ「ミニ知識」「もっと知りたい」で、日本人の精神文化、宗教、年金など、歴史的背景や社会の仕組みを発展的に学ぶ学習内容が紹介されている。また、章のまとめの「学習の発展」では、より難しい学習課題が用意されるなど、生徒が発展的な学習に取り組むやすいよう工夫されている。	○適宜設定されている「スキルアップ」のコーナーでK J法やポスターツアーなど意見の整理方法や発表方法が紹介されている。また、学習内容を詳しく説明する「学習を深めよう」や個人やグループ学習を提案する「やってみよう」、特設教材「これから」などで、社会の課題解決に向けて構想する活動が設定されており、生徒が発展的な学習に取り組むやすいよう工夫されている。

【選定の観点4－1】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○各章や各単元で、適宜「見方・考え方」マークが付されているとともに、見方・考え方を働かせながら考察を深める「見方・考え方」コーナーが随所に設定されている。また、「導入の活動」「まとめの活動」では、Yチャート、ダイヤモンドランキング、マトリックス等の思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図る活動が設定されるなど、工夫されている。 ○各単元の導入で、解決すべき課題を把握するための視点を、生徒が自ら見つけ出すことで、課題を追究し解決する活動へつながるよう工夫されている。また、各単元の「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動を通して、考察を深め、価値判断や意思決定する場面が設定されており、単元末のまとめでは、節ごとの探究の問いに対して、考察してきたことを思考ツールを活用して整理する活動が提案されている。さらに、「まとめの活動」では、社会の課題解決に向けて、生徒が考察、構想する場面が設けられているなど、すべての単元で課題解決に向けた学習の充実が図られており、優れている。	○各章の導入で、学習を進めていく視点が「見方・考え方」として示されるとともに、適宜「見×考」マークで見方・考え方を働かせて現代社会の考察を深める問いが設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、章全体のテーマについて、具体的に示された見方・考え方を働かせながら、生徒が自分の考えをまとめ、解決を図る活動が設定されているなど、工夫されている。 ○各単元の導入で、単元を貫く学習課題の視点が示されており、生徒が単元全体の見通しを持って、学習に取り組むやすい。また、各単元の「公民の技」「読んで深く考えよう」では、社会の課題解決に向けて考察、構想する活動が設定されており、各単元末の「学習のまとめと表現」には、これまでの学習内容を活用して、さらに考察・構想し、次の単元の学習につなげる構成となっているなど、生徒がより深く課題を追究できるよう工夫されている。	○各単元末の「アクティブ公民」では、見方・考え方を働かせながら、生徒が様々な図表や資料から正確に情報を読み取り、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する活動が設定されている。また、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章を貫く問いについて、具体的に示された見方・考え方及び習得した技能を生かしながら、生徒が章の問いを解決できるよう段階的な活動が設定されているなど、工夫されている。 ○各単元の導入「学習の前に」では、大きなイラストを読み解く活動が取り入れられ、生徒が社会の課題や特色と関連させながら、課題把握・課題追究できるよう工夫されている。また、各単元の「公民プラス」「よりよい社会をめざして」等では、社会の課題を考察する場面が設けられており、各単元末の「アクティブ公民」では、社会の課題解決に向けて、生徒が選択・判断する活動が設定されている。さらに、各単元のまとめでは、他者の意見をもとに自分の考えを深めながら課題を解決する活動が設定されるなど、単元を通して考察・構想する学習活動が充実しており、優れている。	○各編の導入で、身近な場面設定の漫画を用いて、生徒にわかりやすく見方・考え方が解説されている。また、毎時間の学習では、毎時間の学習課題に応じた「見方・考え方」を着目する視点として具体的に示されるなど、生徒が学習の見通しをもちながら、課題追究を行いやすい。さらに、「深めよう」「アクティビティ」「ニュースを見方・考え方から見てみよう」では、見方・考え方を働かせる問いが設定されるなど、よく工夫されている。 ○各単元の導入で、学習の視点が具体的なイメージとして伝わるよう工夫されており、生徒が単元で働かせる見方・考え方が捉えやすい。また、各単元の「深めよう」「アクティビティ」では、学習課題に対して考察を深める活動が設定されており、「明日に向かって」「チャレンジ公民」では、グループでの話し合い活動等を通して、生徒が多面的・多角的に考え、社会の課題を自分ごととして向き合って考察、構想できるよう工夫されている。さらに、各単元末のまとめでは、社会的事象について生徒が自らの意見や考えを表現する場面が設定されているなど、よく工夫されている。	○「情報リテラシーとは何か」など、現代社会の特色を捉えるうえでキーワードとなる言葉や視点をキャラクターの吹き出しで補足するなど、生徒の関心をひきつけて、より深く考察できるように工夫されている。ただし、毎時間の学習で、現代社会の見方・考え方を働かせる学習課題が設定されているものの、考察を深めるための視点や手立てはほぼみられないなど、工夫がやや弱い。 ○各章の最初の単元に、単元を通して考えたい学習課題が示されているが、各単元の学習を見通すための場面等は設定されておらず、生徒は見通しを持ちにくい。また、各単元の学習課題は、本文の記述をもとに、これまでの歴史的な背景から日本の現状を知ること重点が置かれているため、多様な視点をもとに、生徒自らが現代社会の特色を捉え、解決すべき課題を把握し、その解決に向けて考察、構想する場面の設定が少なく、工夫が弱い。	○全体を通して、現代社会の仕組みをより深く理解することに重点が置かれ、現代社会の課題について、本文中での詳しい説明に加えて、論点を整理して示すことで、生徒が見方や考え方を働かせながら取り組めるよう工夫されている。また、各単元の導入の「入り口」では、現代社会の見方・考え方が解説されており、各単元のまとめの場面とつなげて、現代社会の仕組みや考え方を生徒自身が分析・評価し、その解決策を探る場面が設定されているなど、工夫されている。 ○各単元の導入で、なぜこのテーマを学ぶのか解説されており、生徒が見通しを持って学習課題の解決に向けて取り組みやすい。また、各単元の「やってみよう」「学習を深めよう」では、学習課題についてより詳しく説明する活動やグループ活動など、考察を深められる活動が設定されている。さらに、各単元末の「これから」では、KJ法やディベートなど公民学習の基礎的スキルを身に付けるための「スキルアップ」を活用しながら、社会の課題に対して、考察、構想する場面が設けられているなど、生徒がより深く課題を追究する学習活動に取り組めるようよく工夫されている。

【選定の観点4－2】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○巻頭で、「持続可能な社会の実現」の視点から現代社会の課題を探り、課題解決に向けて「今の自分にできることは何か」を探ることを学びの方向性として示されている。また、単元構成や学習課題において、生徒が現代社会の課題を見出し、主体的に解決しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。	○巻頭でSDG sに基づいた社会の姿を考えていくことが公民的分野の学習全体を貫く課題として示されており、生徒が目指すべき社会の姿や現代社会の課題解決の方向性を意識することができるように単元構成や学習課題が工夫されている。	○巻頭の「学習のはじめに」で、現代社会の様々な出来事と自分たちの生活を結びつけながら、「解決すべき課題に対して自らがどのように関わっていくべきか」を探ることが学びの方向性として示されている。また、現代社会の課題追究及び課題解決に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を身に付けることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。	○巻頭でSDG sの具体的な資料を示しながら、今後、目指すべき日本社会の姿を捉えることが学習活動の軸として示されている。また、生徒が多面的・多角的に社会的事象や現代社会の課題を捉える力を身に付けることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。	○巻頭及び巻末に、日本の伝統文化や先端技術等が示されており、生徒がこれまでの歴史の歩みをもとに築かれた現代の日本社会の特色を捉えたうえで、日本を支える公民の姿や、国際社会において目指すべき日本の姿を探る学習活動が展開できるように学習課題が工夫されている。	○巻頭で、グローバル化の時代に必要となる公民としての資質など、考えるべき視点に対する一定の見解が示されることで、生徒が現代社会に対する見方や考え方を深めることができるよう工夫されている。また、生徒自身が公民としてあるべき姿や資質を考えることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。

【選定の観点5－1】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○巻頭や第1章のはじめに、持続可能な社会の実現に向けて、環境・エネルギーや防災・安全などの5つのテーマに分けて解決すべき課題が取り上げられている。また、巻末では、生徒が自分の就きたい職業とその職業を通して、持続可能な社会の実現のためにできることは何かを考える活動が設定されているなど、持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。 ○経済的分野の学習のまとめに、「地域経済」の学習課題が設定されており、身近な社会の姿から自分たちの生活を問い直すことで、持続可能な社会の実現に向けて、基礎となる見方・考え方を身に付けられるよう工夫されている。また、政治的分野のまとめとなる「地方自治」の学習では、地域の課題を明らかにして、地方財政の仕組みを踏まえながら、生徒自らが地域社会に対してできることを考える学習が用意されているとともに、特設ページ「18歳へのステップ」で政治や契約に関する教材が取り上げられるなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。	○持続可能な社会を創造する市民の育成が編集の柱とされている。巻頭では、SDG sの17の目標と持続可能な未来予想図が紹介され、本文の各所でも学習内容と関連するSDG sの項目が示されている。また、終章でも「私の提案 自分を変える、社会を変える」が探究課題として用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。 ○経済的分野の学習では、生徒自身が地域や社会に必要とされる会社を考えたり、財政や社会保障の役割をもとに制度のあり方を考えたりするなど、様々な経済的な仕組みなどに対し、個人が果たす役割を捉えることに重点が置かれている。また、政治的分野のまとめでは、衆議院議員選挙の投票率の推移をもとに、年齢構成別に異なる立場から課題を考え、多面的・多角的な視点から、これまでの学習とのつながりや連続性を踏まえ、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。	○持続可能な開発目標の意義の理解を涵養することが、編集の基本方針のひとつとされている。国際社会の単位では、SDG sの理念が詳しく解説されているとともに、特設ページ「よりよい社会を目指して」「未来に向けて」「アクティブ公民」では、社会が直面する課題が取り上げられている。また、各所にSDG sとの関連を示すマークが付されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるようよく工夫されている。 ○経済的分野の学習では、契約・消費者問題の項目で、個人の責任について考察する学習活動が取り入れられるなど、経済活動の主体となる家計・企業・政府の役割と責任を捉えることに重点が置かれている。また、政治的分野のまとめとなる「地方自治」では、地方財政の予算案を考える学習課題が用意されており、公正と効率の考え方をもとに、地域社会の望ましい姿を考えたり、様々な企業活動と現代社会の課題との関係性と捉えたりしながら、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるように工夫されている。	○巻頭の見開きで、国際社会共通の目標として、SDG sの17の目標がわかりやすく紹介されており、持続可能な社会を実現するために私たちがどのような視点をもつことが大切かを考えることから公民学習がスタートしている。また、各単元でも、各所で持続可能な社会について触れるなど、全体を通して、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるようよく工夫されている。 ○経済的分野の学習の最後に、少子高齢社会における社会保障と財源、環境と財政の関係など、持続可能な社会の実現に向けて、生徒が現代社会の課題を捉える学習課題が取り上げられている。また、政治的分野の学習のまとめとなる「地方自治」では、地方財政の課題から、政策の実現可能性を考察する活動や、見方・考え方を働かせながら、経済と政治の学習を結びつけて考えることなどを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。	○特設ページ等は設定されていないものの、国際社会の単位で、SDG sの理念が紹介されている。また、終章では、「持続可能な社会を目指して」がテーマとされ、日本型ODA等や軍事、環境等の視点から見た日本と世界の姿が掲載されるとともに、卒業論文やディベートが課題の探求として設定されるなど、生徒の持続可能な社会の形成に参画する意識の涵養につながるよう工夫されている。 ○経済的分野の学習では、豊かさを生む経済の仕組みや政府の経済活動等について学び、あるべき経済活動とはどのようなものか、生徒が考え、理解する活動に重点が置かれている。また、政治分野の第1章「個人と社会生活」の中で、特設ページ「魅力あるまちづくりを考えよう」が設けられているなど、日本で暮らす私たちが地域社会や国際社会で果たすべき責任を考えることを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。	○巻頭の見開きで、SDG sの17の目標が写真を用いて具体的に示されており、生徒にとってわかりやすい。また、過去の開発目標(MDGs)の成果と課題の評価・分析から、解決すべき国際社会の課題を見出す活動に加え、各単元でもSDG sに関する教材等が適宜紹介されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるようよく工夫されている。 ○経済的分野の学習では、「人生をデザインしよう」など、将来の生活の姿を見通す学習活動に重点が置かれており、私たちの暮らしの中で、企業や政府が果たすべき役割を問いかけることで、持続可能な社会の実現に向けて、現代社会において解決すべき課題を見出す活動が設定されている。また、政治的分野の政治参加・地方自治の項目では、様々な対立を調整しつつ、重視する価値の選択や判断を行う学習活動等が設定されているなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

【選定の観点5－2】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○国際社会の単元を「地球社会」と位置付け、グローバル化する社会の中で、持続可能な社会の実現に向け、「人間の安全保障」の視点を幅広く捉えながら、国家の枠組みを超えて解決すべき課題を見出すことに重点が置かれている。また、文化や宗教の果たす役割やその変化に触れながら、文化的・宗教的な立場の違いに対する理解を深められるよう、自らの生活に根付く文化や宗教に注目する教材が用意されている。さらに、日本の伝統と文化が私たちの生活にどのような影響をあたえているのかを考える教材等が用意されている。また、巻末で日本の無形文化遺産が紹介されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。	○国際社会における解決すべき課題を民族や宗教、人権、経済活動など、これまでの学習を通して身に付けた多様な視点から捉えることに重点が置かれている。地域に根付く文化のあるべき姿を考える学習など、グローバル化する社会において、文化が果たす役割を捉えながら、自らの地域の文化に注目し、地域社会から日本、国際社会へと多様性を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。また、地域の教訓を語り継ぐ奇跡の集落、日本の美德、現代建築に生きる五重塔の技と知恵などが紹介されるなど、郷土の伝統と文化だけでなく、過去から受け継がれてきたものを未来の世代へと受け継いでいく意味について考えるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。	○「SDGs」・「人間の安全保障」の考え方に基づき、国際社会が目指す姿を捉えることで、国際社会における文化的・宗教的な課題の解決に向けて、今後の国際社会における秩序や方向性、価値観について考える力を養うことができるように工夫されている。また、狂言師・野村萬斎氏のインタビューから、伝統と文化の継承や創造していくことの意義について考えていく教材や、グローバル化する社会において、文化や宗教が果たす役割を見つめ直しながら、自らの生活に根付く伝統と文化に注目する教材が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。	○国際社会の単元の中で、グローバル化する社会において、「地球市民」としての立場から現代の社会の課題を捉え、文化や宗教が果たしてきた役割や文化を形作る背景を多面的・多角的に考察するための豊富な資料等が用意され、それを活用しながら考察できるよう工夫されている。例えば、日本の領土問題に加え、パレスチナやクリミアなど世界の領土問題を掲載するなど、日本に限らず様々な国の立場から多面的・多角的に考察することが促されている。また、現代社会における文化として、日本の各地域に受け継がれてきた様々な伝統と文化の多様性を取り上げ、グローバル化の中で国際的な視点から我が国の伝統と文化を考察する教材が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるようよく工夫されている。	○「現代日本の自画像」として、本文やコラム等で文化、科学、芸術、宗教が取り上げられており、歴史的背景等をもとにしながら、グローバル化する社会の中で日本の姿を捉え、日本の文化、科学、芸術、宗教の特色を深く考えられるよう工夫されている。特に、特設ページ「グローバル化によって私たちの生活はどう変わったのか、考えてみよう」では、グループワークに取り組んだ後、コラム「日本人の精神とは何だろう」「科学（芸術、宗教）とは何だろう」で、日本人の自画像、文化の継承と発展について考えを深められるよう構成されており、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度や社会参画への意識を身に付けることができるよう工夫されている。	○「SDGs」の理念にもとづく国際社会が目指す姿を実現するために、日本が果たすべき役割を考えることに重点が置かれている。国際社会の単元では、世界遺産や世界の主な宗教の分布図等が示されるとともに、特設ページでは、大阪万博からSociety5.0社会を考察したり、「SDGs 未来都市」の取組から地方創生について交流したりする活動が提案されている。また、現代社会の文化として、私たちの生活と文化のかかわり、日本の伝統と文化、文化の継承と創造について紹介されており、コラム「学習を深めよう」では、フランス庭園と日本庭園、伝統行事の継承と少子化・過疎化の関係性が紹介されるなど、グローバル化する社会において、異文化理解の重要性や日本の伝統と文化が国際社会に果たす役割を踏まえ、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるようよく工夫されている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○世界の貧困や宗教による食の違いなどの9の事例で「ちがいがいい」や、ハンセン病と人権、アイヌ文化、尊厳死、オーストラリアの先住民の権利保障などがコラムで取り上げられている。また、「みんなでチャレンジ」では、バリアフリーの取組をもとに、意見を出し合いながら、違いを認めすべての人が支え合うインクルージョンについて考える活動が設定されており、生徒が人権に対する理解を深められるよう工夫されている。 ○単元の学習内容に沿って、職業の様子ややりがいなどを語るインタビューコラムが充実しており、具体的な職業を身近なものとして感じることで、生徒が勤労の精神や社会参画等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○ハンセン病、ヘイトスピーチ、パラリンピックの先駆者、捜査技術の進歩と人権、子ども食堂、識字学級、LGBT等の豊富な題材がコラムや特設ページで取り上げられている。また、社会保障の単元のコラム「公民の窓」では、「平等であること、公正であること」として、単なる平等ではなく、公正の観点からそれぞれの人の違いに応じた配慮のあり方を考える題材、また、国際社会の単元では、子どもと女性の問題に関する題材が数多く取り上げられるなど、生徒が人権に対する理解を深められるよう工夫されている。 ○「国際社会に生きる私たち」の章で、国際社会における宗教の持つ意味や、文化や宗教の違いを巡る問題が取り上げられており、生徒が国際理解や寛容な態度等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○コラム「未来に向けて」では、人権をテーマに、「アイヌ語への思い」「障がいがあっても働ける場を」といった題材が取り上げられ、特設ページ「よりよい社会を目指して」では、特別支援学校に通う生徒の作文やハンセン病療養所の保育園等の資料から、偏見や差別をなくすための具体的な取組を考える活動が用意されており、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。 ○適宜設定される教材「先輩たちの選択」で、様々な業種で活躍する人々の生の声を取り上げ、想いや葛藤、自己実現等を通じて、生徒が他者との関わり、自分の将来やよりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○ハンセン病や遺伝子情報と人権等の題材がコラムで取り上げられているとともに、特設ページ等において、身近な生活の中から人権について考える場面が設定されている。また、教材「まちのバリアフリーを探そう」では、大阪府堺市を例に障害のある人への配慮の例が豊富に紹介されるとともに、点字が体験できる資料が添付されているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。 ○コラム「公民+α」で、ハンセン病や海洋汚染、若者の政治参加等が取り上げられており、生徒が公正・公平、社会正義、自然愛護、よりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○アパルトヘイトや少数民族への弾圧、難民問題等の人権問題が取り上げられている教材「国際社会における人権」で、世界の人権問題について取り上げられている。また、特設ページ「もっと知りたい」では、近隣諸国の人権問題や日本人拉致問題が取り上げられているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。 ○特設ページ「もっと知りたい」では、日本の芸術文化、新しい権利、拉致問題等が取り上げられており、生徒が公正・公平、よりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○特設コーナー「学習を深めよう」で、在日外国人や部落差別、アイヌ文化、ハンセン病等の題材が取り上げられている。また、コラムや特設ページ等において、拉致問題、アパルトヘイト、チベット問題、ウイグル問題、アフリカ諸国の内戦等、日本を含む、世界の人権問題が取り上げられているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。 ○コラム「学習を深めよう」で、伝統行事の継承と少子化・過疎化の関係性、貧困問題等が取り上げられており、生徒が強い意志、よりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。

【選定の観点 7－1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○単元を貫く「探究課題」、その解決につながる各節の「探究のステップ」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。特に、各章末「まとめの活動」は、思考ツール等を用いながら、章の学習内容の理解を深められるよう工夫されている。 ○地理・歴史分野との関連を示すマークが各ページに示されているとともに、他教科との関連が一目でわかるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、「もっとと公民」として、環境・エネルギー、伝統文化、防災・安全等、現代的な諸課題に関わる課題が取り上げられるなど、優れている。 ○章初めに、小学校での学習内容を用語や写真資料で振り返るページが掲載されているとともに、小学校教科書と同じ資料には、小学校マークを付けて関連を示すなど、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組むやすい。また、特設ページ「18歳へのステップ」で、高等学校「公共」の学習へつなげるなど、小中高の接続が図られている。	○章を貫く問い、節ごとの問い、1時間ごとの学習課題の3段階の問いと、章末と毎時間設定されているまとめ活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。また、各章末の「次章の学習へ」では、学習してきた章のポイントと次章の学習の方向性が具体的に示されていることで、新たな章の学習につながるよう工夫されている。 ○巻頭に、公民で学ぶ主要内容と地理・歴史分野とのつながりや、学習の見通しが示されている。また、見開きの左下には、他分野だけでなく他教科のどの単元や項目と関連するかが示されており、生徒が教科を越えたつながりを意識しやすい。また、適宜「関連するSDGs」が脚注に示されるなど現代的な諸課題との関連も明示されており、優れている。 ○見開きの左下に小学校マークを付けて、どの単元と関連しているかが示されており、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組むやすい。また、中学校社会科のまとめである終章「私たちが未来の社会を築く」では、高等学校「公共」の学習へつなぐ準備と位置付けられるなど、接続が図られている。	○単元を貫く問い、節ごとの問い、1時間ごとの問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。特に、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の学習内容を深める場面で段階を踏んで設定されているため、繰り返し継続的に取り組みやすいよう工夫されている。 ○巻頭に他分野・他校種とのつながりを含め、公民的分野の学習の全体像が説明されている。また、見開きの左下には、地理や歴史の他分野との関連が明示され、生徒がどの単元のどの項目を振り返るとよいのかがわかりやすい。他教科や現代的な諸課題は、特設ページ「公民プラス」等で関連する題材が取り上げられているなど、優れている。 ○各章の導入ページに、小学校との関連が掲載されているとともに、見開きの左下にも小学校のどの単元と関連しているかが示されているなど、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組むやすい。また、「アクティブ公民」のページでは、社会に見られる課題の解決に向けて構想する場面で重視されており、高等学校「公共」との接続が図られている。	○各編の導入で、これから学習する内容の概要と見方・考え方が示され、1時間ごとに設定された学習課題を解決する学習をした後、各章末の「学習の整理と活用」のまとめ活動に取り組む構成となっている。編末の「チャレンジ公民」では、学習してきたことをもとに社会に見られる課題の解決に向けて考える活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。 ○巻頭に地理・歴史分野とのつながりが説明されており、本文の脚注にも、地理・歴史分野のどの単元と関連しているかが具体的に示されており、生徒にとって使いやすい。また、「アクティビティ」などのコーナーに、他教科との関連を意識した内容が取り上げられており、また、SDGsに関連する内容が随所に示されるなど現代的な諸課題との関連も明示されており、優れている。 ○小学校で学習した知識を生かすことができるよう、本文の脚注に「連携コーナー」として小学校との関連が示されている。また、巻末に高等学校「公共」における見方・考え方との関連などがわかりやすく説明されており、中学校社会科での学習をどのように生かしていくか生徒にとってわかりやすい。	○各章の導入で何を学習するかが文章で示され、1時間の学習課題とそれに対応したおさえるべき確認事項が「ここがポイント」で示されている。また、章末の「学習のまとめと発展」では、重要語句を確認する学習のまとめ活動が用意されるなど、生徒が系統的に学習を進められるよう工夫されている。 ○他分野、他教科ともに関連性を意識できるマークなどが示されていないが、公民学習の内容に関連する人物の中で、歴史で学習した人物も数多く取り上げられており、分野間の関連が図られている。また、「ミニ知識」のコーナーなどでは、他分野や他教科に関連する内容が紹介されているなど、工夫されている。 ○小学校や高等学校との関連を示すマークや特設ページ等はほぼみられず、手立てが弱い。	○各章冒頭の「入り口」で学習する章全体の概要を捉えたうえで、1時間ごとの学習課題を解決する学習をした後、章末の「学習のまとめ」に取り組む構成となっている。各章末の「これから」で、章の学習内容を活用して、社会に見られる課題の解決に向けて考えを深める活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。 ○巻頭に地理・歴史分野とのつながりが図示され、なぜ公民を学ぶのかがわかりやすく説明されており、生徒が公民学習の見通しが持ちやすい。また、各見開きには、地理や歴史の学習内容との関連が示されている。さらに、特設ページ「学習を深めよう」などに、他教科との関連を意識した内容が取り上げられているとともに、SDGsに関連する内容が随所に示されるなど現代的な諸課題との関連も明示されており、優れている。 ○各章の導入で、小学校で学習した内容が紹介されており、生徒は振り返りながら、章の学習に入っていくことができるよう工夫されている。また、中学校社会科のまとめである終章「よりよい社会をめざして」では、高等学校「公共」の学習へつなぐ準備と位置付けられるなど、小中高の接続が図られている。

【選定の観点 7－2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
○これからの家族の在り方や地域社会全体で支える仕組みづくりの重要性を考える教材「多様化する家族の形」が用意されている。また、地方自治の学習の中で、身近な地域の課題や住民によるまちづくりなどについて考える活動が設定されており、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。	○家族や家庭の在り方を考えるとともに地域社会でのつながりの大切さに気付くことができる教材「世代を超えてともに生きる」が用意されている。また、地域のルールを考えたり、まちづくりのアイデアを提言したりする活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。	○教材「少子高齢化と家族・社会の変化」では、子どもと高齢者が共に過ごす兵庫県の例を通して、核家族が多い現代において、家族を含めて、社会全体の支え合いの必要性を考える活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。	○家族は最小の社会集団であり、個人と社会を結びつける重要な役割を果たすことを取り上げる教材「家族と社会」が用意されている。また、「明日に向かって」「チャレンジ公民」では、地域の課題やよりよいまちづくりについて考える題材が取り上げられるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。	○1つの節として、「家族の中で育つ私たち」が取り上げられているなど、家族に関する記述が充実しており、生徒が家庭内での男女平等や家庭生活の変化を捉え、家族や家庭の在り方について考えられるよう工夫されている。また、教材「私たちと地域社会」では、地域社会との関わりを考え、特設ページ「魅力あるまちづくりを考えよう」では、これからの地域のあり方を考える活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。	○1時間の学習内容として「家族の一員としての私たち」が取り上げられるなど、家族に関する記述が充実しており、家族の役割や形態の変化から、生徒が家族の大切さと家族を基礎に地域社会を守り育てていくことの大切さについて考えることができるよう工夫されている。また、1時間の学習内容として「郷土の一員としての私たち」が取り上げられるなど、地域社会の変化や様々な課題から、公共の精神や郷土への関わりを考えることを通して、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。 ○ユニバーサルフォントが採用されており、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用するなど、工夫されている。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙と環境に配慮した植物油インキが使用されている。	○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフなどの色使いを統一させるなど、見やすくするよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。	○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせ提示するなど、よりわかりやすくするよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、グラフなどは、線種を変えたりするなど色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境にやさしいフレッシュバルブとライスインキが使用されている。	○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの出典年まで示されるなど、工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。	○重要語句が太字のゴシック体で表記されており、他社に比べて写真や図表が厳選され、余白を設けることで見やすくなるよう工夫されている。 ○ユニバーサルデザイン等に配慮されているか明記されていない。また、ルビの振られた漢字が少なく、すべての生徒の使いやすさへの配慮が弱い。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○用紙やインクの環境面への配慮が明記されていない。	○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせ提示するなど、生徒によりわかりやすくするよう工夫されている。 ○図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示が工夫されるなど、カラーバリアフリーに配慮されている。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。